

夏原の施工事例紹介vol.15

ソフトバンク工場

今回は大規模データセンターの建設工事をご紹介します。夏原社長、現場管理責任者、職長の三者から、信頼関係を基盤とした受注経緯、特殊な環境下での苦勞、そして現場を支えた職人さんへの感謝の言葉を伝えていただきます。

現場名：(仮称)関西新センター
A棟建設工事

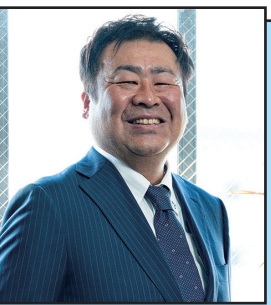
工期：2024年9月～2025年3月

工事に関わった人数：1,500人工

工事受注の経緯

◇「絶対についていく」と決めた方と、新しい現場でも◇

この案件は、大成建設のパナソニック草津の現場で所長をされていた方が、次にソフトバンク工場の所長になられたご縁で受注できました。パナソニック草津の現場で大変お世話になったため、「次にどこの現場に行かれても絶対ついていこう」と思っていたのです。「今回もぜひやらせてください」とお願いし、受注に至りました。



なつはら そうすけ
夏原 崇介社長

思い出のエピソード

◇競争と一緒に空間で「絶対負けない」!◇

同業他社がいる現場だったため、安全や品質の面で比較されることを考え、福原さんや大路さんには「絶対負けるなよ」と伝えていました。実は工事途中、他の業者さんで大きな事故があり、「不安全行動がないように」と作業員に再確認したという出来事も。ただ、福原さんは職長経験が豊富なため、**職人さんをうまくまとめてくださる**という確信がありました。繁忙期と重なり、協力体制の構築には苦勞した面もありましたが、大きな遅延もなく工期を終えられてほっとしています。



現場を担当した職人さんへ

✧ 夏原の新たな武器となる成果に感謝 ✧

同業他社がいる中で、夏原として評価される仕事をしてもらったことに、心から感謝しています。ちなみに、この工事の二期工事もすでに受注できています。これは、職人の皆さんが一期工事をしっかりやりきってくれたからにほかなりません。この成果は、今後の営業においても強力な武器になっていくことでしょう。

現場管理を務めました!



安全品質管理部 課長

おおじ ようへい

大路 洋平さん

思い出のエピソード

工事の途中、壁が図面通りに立っていないことが発覚。一度解体し、全部やり直したことで解決しましたが、全員で慌ただしく対応したのを覚えています。改めて、「**確認作業は何回も行うべき**」という教訓を得ました。

現場管理責任者として気をつけた点

建設現場には、「ABC工事」と呼ばれる工事が 있습니다。今回当社は、主に建物の構造躯体を組む「A工事」を担当しました。A工事とは、いわば工事全体の基本を作る工事。残るB工事とC工事に悪影響が出ないよう、「とにかく図面通り」に気をつけて進めました。



現場を取りまとめた福原さんへ

本件は、**外国人の職人さんが多い現場**でした。ベトナムやフィリピン・中国と、国籍も多様です。言葉が通じず、意思疎通トラブルが多発するも、現場のオペレーションをなんとか回してくれたのが福原さんでした。困難な状況の中、うまく仕事を納めてくれたことに感謝しています。



職長を務めました!



福原建装

ふくはら ひろゆき

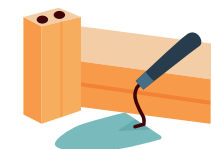
福原 裕行さん

思い出のエピソード

職人さんの約半数が外国人だったため、当初は**言葉の壁**に直面。しかし、共に作業するうちにお互いに慣れていくことができました。理解を深めて乗り越えられたことは大きな財産です。

職長として気をつけた点

この現場で一番気を遣ったのは、**資材の重さ**です。特に防火機能をもつ「ガス消火の壁」に使用した角パイプは重く、長さは約6mもあり、私自身初めて扱う特殊な材料でした。安全を最優先するため、2～3人がかりで揚重機を使い慎重に立てていきました。



現場を担当した職人さんへ

体力的に厳しい中、毎日遅い時間まで本当によく頑張ってくれました。人数が揃わず工期もギリギリでしたが、粘り強くやり遂げたことに心から感謝しています。皆さんのおかげで無事に完了できました。本当にありがとうございました!

安全はメンテナンスから



道具を大切に作る心

「自分でお金を払って買ったもので、安くはない。長いこと使えるように気にしています」。道具への愛着と、安全への強い意識。平成10年の入社以来、数々の現場を経験してきた山田さんの言葉には、仕事と道具に対する誠実な姿勢が貫かれています。

道具メンテナンスの重要性

当たり前の先にある本当の安全 ……………

安全に作業するため、当たり前のメンテナンスを継続しています。扱う道具は変わってきましたが、根本にある意識は変わりません。それは、親方でもある父の「道具は大事に」という教え、というより、その姿を見て真似てきた感覚。長く使ううちに道具が自分に馴染んでくる感覚は、ずっと変わりません。

一番の「相棒」と呼べる道具

入社後10年ほどメインで使っていた左官のコテ ……

仕事内容が変わり、今は年に1～2か月しか使いませんが、一番しっくりくる道具です。20年以上使ってまだ2つ目。やはり人のものを借りると感覚が違います。

メンテナンスの失敗談と教訓

一瞬の油断が招いた怪我 ……………

若い頃、電動丸のこの掃除中に指先を切りました。電源が入ったまま不意にスイッチを握ってしまったのです。幸い大事には至りませんでした。が、労災を使うほどの怪我でした。

この経験で学んだのは、メンテナンスや刃の交換時は必ず電源を抜くかバッテリーを外すこと。どんなに急いでいても、その一手間を惜しんではいけません。怪我をすれば仕事ができなくなります。まず安全な作業環境を整えることが第一です。

若手社員へ伝えたい、道具への想い

若い社員や実習生たちに、道具の大切さが伝わってほしいと思っています。支給された道具だと、「壊れたらまた新しいものを」という考えになるのかもしれませんが。しかし、自分のものでも、会社のもので、人のものでも、道具を大切に扱うのは同じこと。その気持ちが、安全な作業と良い仕事につながっていくのだと思います。

ワンタッチドリル



「熱い気持ちを忘れずに」

夏原を支えるサウステックへの『ありがとう』

夏原を長きにわたり支えてくださっている株式会社サウステックの皆さまへ、日頃の感謝を込めたメッセージをご紹介します。現場でのプロフェッショナルな対応から、プライベートでの温かい交流まで、厚い信頼で結ばれた関係性が伝わるエピソードが満載です。



Message

サウステックは6名全員が長い勤続年数のため、少人数で無駄のない動きをしていただいていると感じています。これは現場の原価を抑えるうえで最も大事なことです。感謝しています。若いころに入社したスタッフも、ベテランの域に達してきました。その下にまた人が入ってくるように色々と考えて頑張っていきたい。夏原も協力します。



夏原株式会社
なつはら そうすけ
夏原 崇介社長

現場でのエピソード

戸田さんが夏原に来て、長い時間が過ぎました。初めは片岡さんがきっかけで仕事をしてもらうようになりましたが、今となれば、夏原の下地屋の主力になってくれました。戸田さんの人柄もあり、お客様からもいつも良い評価をいただいています。これからも末永くよろしくお願いいたします。



京都高建株式会社
たかはし ただし
高橋 正社長

現場でのエピソード

サウステックの皆さんと出会ったのは18年ほど前になると思います。当時の若い職人さんも成長して、技術力・現場管理能力といった戦力のある会社だと思っています。戸田社長とは2回ほど一緒に食事に行き仕事の話をしましたが、夏原に対しての思いや自身のやるべきことなど、熱い気持ちを持った方だと再認識しました。これからもよろしくお願いいたします。

Message

サウステックの社長・下請け親方の皆さんが長い間同じ仲間同士でいてくれたことで、今日まで頑張ってきた。高建メンバー一同感謝しています。時代は変わりましたが、熱い気持ちを忘れずこれから先ともに頑張っていきたい。



なかみち つかさ
中道 師さん

現場でのエピソード

サウステックの皆さんはいつも私の無理な仕事のお願いにも耳を傾け、対応して下さいます。いつもありがとうございます。

Message

仕事以外の時間も飲みに行ったり歌いに行ったりいつも楽しく過ごしています。これからもよろしくお願いします！



おのうえ けんじ
尾上 賢司さん

現場でのエピソード

サウステックの戸田社長と仕事をする事が多く、現場を進めていくにあたって工程管理や搬入確認など、本来、番頭が行う仕事まで助けていただき大変助かっています。連絡もこまめにいただき、現場の仕事がとても進めやすいと感じています。

Message

プライベートでは飲みやゴルフに連れて行っていただくことも。あまり予定を入れない私には、かなり息抜きになっています！